



絵本の紹介

～秋のおすすめ～



〈あい組〉

おつきさまこんばんは

作：林 明子 出版社：福音館書店

おつきさまを指さしながら「あ！あ！」と近寄って来るあい組の子どもたちです。「おつきさま、こんばんは」と保育者が頭を下げながら挨拶すると子どもたちも笑顔で真似して頭を下げている様子がとても可愛いです。おつきさまが雲に隠れて泣いちゃう場面も保育者と一緒に泣き真似をしています。ことばのリズムも楽しめる絵本です。夜空の月が絵本のお月様の事だ！という発見もあるかも知れませんね。

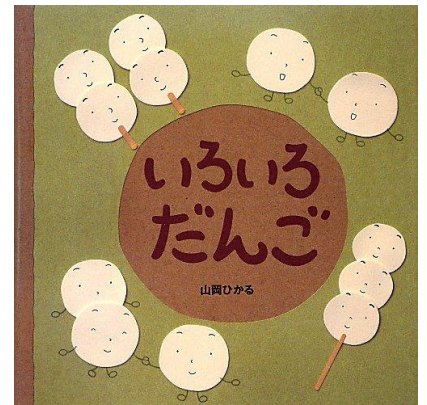


〈うみ組〉

いろいろだんご

作：山岡 ひかる 出版社：くもん出版

たくさんの種類のお団子が出てくる絵本です。次はどんなお団子が出てくるか、ページをめくる度にわくわくや楽しさを感じることができます。うみ組ではお団子を手に取って食べる真似をしたり、「美味しいね、お腹が空いちゃうね」などとやり取りをしたりして楽しんでいます。最後のページに「いろいろだんご だれが好き？」というセリフがあるので、みんなでどれが好きかお話をしても楽しい絵本です。



〈はな組〉

おばけなんてないさ

作：せな けいこ 出版社：ポプラ社

童謡「おばけなんてないさ」の絵本です。おばけは怖い！というイメージがありますが、この絵本をうたいながら読んでみると、あれ？おばけと友達になってみたいという気持ちになってくるのです。はなぐみでは、保育者と一緒に歌って楽しんでいます。ページごとに出てくるおばけや食べ物に興味を持ち「おばけのしっぽだ」「これはお団子だね」などと話しながら読んでいます。何度も何度も読んで、本を見なくても完ぺきに歌えちゃう子もいますよ。遊びながらもつい口ずさんでしまう楽しい歌絵本です。

